

## 1 事業内容

団体名	くしろ不登校の子とくらす親の会 くるむ
事業名	不登校の子も親も安心しよう
課題テーマ	安心して暮らせる都市、若い世代を社会全体で支える
事業提案の背景	私自身が、不登校にならざるを得なかった子を持つ親として、子の進学や将来、今後、これからについての悩みや不安、心配等を相談できる場所が身近にないと実感し、必要性を実感した。
事業目的	不登校の子を持つ親が、子の現状を気軽に相談でき、将来や今後の悩みや不安、心配を話すことができ、また日常的な接し方や対応方法、心構え等を伝えていくことで親と子がお互いに前向きに将来を考え、安心していく事ができる知識や手立て、つながりを持てる機会を提供する。
事業内容	不登校の子を持つ親同士が集まり、それぞれが持つ経験や体験等を話し、『自分だけではない』安心感や話を聞くことで得る新しい捉え方や接し方、対応方法を学ぶ事ができる機会を提供する。また、不登校の子と参加できる体験会やワークショップ、レクなどのイベントを実施することで、不登校の子自身にも身近にも同じような状況の子がいることを実感、体験してもらう事で、子自身の不安感、焦り感を軽減していく事ができる。特効薬や魔法のようにすぐに効果は出なくても、少しずつ閉じこもった生活から社会に興味を持ち、社会に参加していく、意欲や動機を持っていくことで、不登校によりそれぞれが抱える不安感や焦り、心配等を軽減し、安心して子の成長を見守っていくことができる。
成果目標の達成状況	不登校当事者や保護者が集まる居場所作り。子供との関わりや釧路市での鳥杭を聞く会を開催するなど、当事者同士や支援先、社会との繋がりを作る機会を提供できた。
波及効果の達成状況	スクールカウンセラーや教育委員会、ボランティアの大学生など、不登校の子や家庭の悩み・欲しい支援を、当事者や学校だけでなく、より広い人に知ってもらう事ができた。
実施体制	くしろ不登校の子と暮らす親の会 くるむ (2名 内代表1名 事務局1名)
連携した市担当課	無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ( 学校教育部 教育支援課)
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	くしろ不登校の子とくらす親の会くるむが主催する「お話し会」等のイベントについて、市内小中学校・義務教育学校にチラシデータを送付し、多くの方の目に触れる形での周知依頼を行うことで、不登校の子を持つ保護者への情報提供を行った。

## 2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	144,887	
自己資金	2,973	
合 計	147,860	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
委託料	80,000	
使用料・賃借料	33,950	
印刷製本費	22,687	
消耗品費	8,250	
小 計	144,887	
対象外経費		
子ども cafe 材料費	2,973	
小 計	2,973	
合 計	147,860	